

ここまでできる内視鏡外科手術

日時：2020年1月18日(土)11:00~16:00(10:30~受付)
場所：TRI 臨床研究情報センター2F 第1研修室

プログラム (プログラムの順番、演題名、講師名は一部変更になる場合があります)

10:30~ 受付開始

11:00~12:00

基調講演 『内視鏡手術の術中トラブルゼロを目指した機器管理、手術室運営』
～内視鏡機器に対する臨床工学技士の役割とは～
市立貝塚病院 院長 今本 治彦 先生

13:00~14:00

教育講演 『内視鏡の保守管理と今後の展望』
オリンパス株式会社 小西 寿尚 先生

14:10~16:00

ワークショップ 『各施設の内視鏡外科業務への取り組み』

司会/パネリスト	神戸大学医学部附属病院			
	国際がん医療・研究センター	医療技術室	市之瀬 透	先生
パネリスト	三田市民病院	臨床工学科	三宅 佐和	先生
	神戸市立西神戸医療センター	臨床工学室	岸本 和昌	先生
	済生会兵庫県病院	臨床工学科	篠崎 太一	先生

ここまでできる内視鏡外科手術

ご挨拶

近年の内視鏡外科手術の進歩は目覚ましく、内視鏡手術装置の操作・管理に携わる臨床工学技士の需要は増加傾向にあります。また、業務範囲は装置の操作・管理だけに留まらず清潔補助やスコピストを担当している施設もあり活躍の場が拡大しています。

今回の定期学習会では、内視鏡外科手術だけでなく手術室運営も携わられている今本先生を講師に招き、外科医の視点で内視鏡手術に対する臨床工学技士の役割をご講演して頂きます。さらに、内視鏡手術装置の保守管理や展望をメーカーにご講演して頂きます。最後に、ワークショップとして内視鏡外科手術に対し、業務内容の異なる各施設の先生方に業務介入の経緯や業務範囲（スコピスト等）を紹介して頂き、これから業務開始や業務拡充する際に必要な知識を学べる内容となっています。

日時・場所・参加費・申込み

日時：2020年1月18日(土)
場所：TRI 臨床研究情報センター2F 第1研修室
参加費：兵庫県臨床工学技士会会員・学生：1,000円 一般：4,000円
申込み：事前申込み 先着 150名
兵庫県臨床工学技士会 WEB site (<http://hce.umin.jp/>)の
【申込登録フォーム】よりお申込みください

取得可能単位

手術関連専門臨床工学技士認定に必要な単位 8単位
臨床ME専門認定士 認定更新に必要な点数 5点
医療機器情報コミュニケーター(MDIC) 認定更新に必要なポイント 5ポイント

ご案内

- ・会場の駐車場は限られています。満車の場合は『先端医療センター』等の駐車場をご利用下さい。
- ・近隣の飲食店が少なくなっております。
- ・座席により空調設備が十分に機能しない場合があります。申し訳ありませんが、体温調整しやすい服装でご参加下さい。
- ・クロークはございません。あらかじめご了承下さい。
- ・天候や災害による公共交通機関の計画運休による中止および演者の都合による講演内容の変更等が生じる際には、当会ホームページ (<http://hce.umin.jp/>) もしくは Facebook (<https://www.facebook.com/Hyogo.CE/>) にて随時情報掲載させていただきますのでご確認下さい。

お問い合わせ

問合せ先：施設名 神戸大学医学部附属病院
国際がん医療研究センター
部署 医療技術室
担当 市之瀬 透
Email：ichinose@med.kobe-u.ac.jp
Tel：078-302-7111(内線：2801)

会場地図



住所：神戸市中央区港島南町1丁目5番地4号
最寄駅：神戸新交通ポートライナー
「医療センター（市民病院前）」駅前